

PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : 2000-287110

(43)Date of publication of application : 13.10.2000

(51)Int.Cl.

H04N 5/225

(21)Application number : 11-093849

(71)Applicant : RICOH CO LTD

(22)Date of filing : 31.03.1999

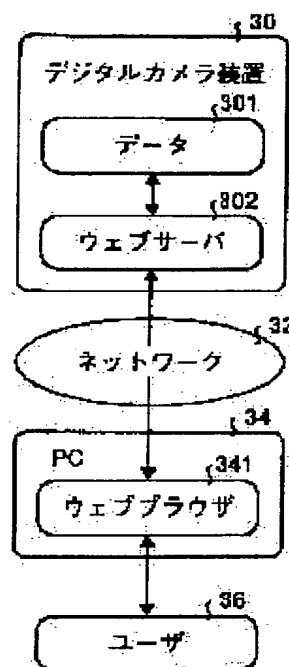
(72)Inventor : TSUNODA NAOKI

(54) CONTROL SYSTEM FOR DIGITAL CAMERA

(57)Abstract:

PROBLEM TO BE SOLVED: To easily refer to and edit a file stored in a digital camera without the need for installation of a specific application to a PC.

SOLUTION: A JPEG file stored in a memory built in a digital camera 30 is used to automatically create a thumbnail HTML document. A JPEG display part and a file name are linked to the HTML document displayed with the original resolution. The index HTML document is automatically generated from the JPEG file name in the memory to generate the HTML document with operations capable of basic operations with respect to files in the memory. A CGI capable of various operations is inserted in an in-line in the HTML document as the operation, and the HTML document including thumbnail display, index display and operation display is displayed at once as a multiple frame display.



LEGAL STATUS

[Date of request for examination]

10.06.2003

[Date of sending the examiner's decision of rejection]

[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number]

[Date of registration]

[Number of appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of requesting appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of extinction of right]

(19) 日本国特許庁 (JP)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開 2000-287110

(P 2000-287110A)

(43) 公開日 平成12年10月13日 (2000.10.13)

(51) Int. Cl. 7

識別記号

F I

テ-マコ-ト (参考)

H 0 4 N 5/225

H 0 4 N 5/225

F 5C022

審査請求 未請求 請求項の数 8

OL

(全 13 頁)

(21) 出願番号 特願平11-93849

(22) 出願日 平成11年3月31日 (1999. 3. 31)

(71) 出願人 000006747

株式会社リコー

東京都大田区中馬込1丁目3番6号

(72) 発明者 角田 直規

東京都大田区中馬込1丁目3番6号 株式会

社リコー内

(74) 代理人 100089118

弁理士 酒井 宏明

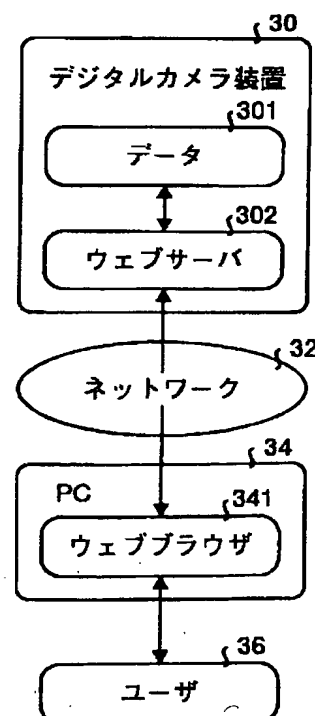
Fターム (参考) 5C022 AA13 AB68 AC01 AC13 AC69

(54) 【発明の名称】 デジタルカメラ装置の制御システム

(57) 【要約】

【課題】 PC側に特別なアプリケーションを搭載することなく、デジタルカメラ装置内に格納されているファイルの参照や編集が容易に行えるようにする。

【解決手段】 デジタルカメラ装置 30 に内蔵されたメモリ内の J P E G ファイルから自動的にサムネールの H T M L ドキュメントを作成する。J P E G 表示部分やファイル名は、元の解像度で表示する H T M L ドキュメントがリンクされている。メモリ内の J P E G ファイル名から自動的にインデックスの H T M L ドキュメントを作成し、メモリ内のファイルに対する基本操作を可能としたオペレーションの H T M L ドキュメントを作成する。オペレーションとして各種操作が可能な C G I を H T M L ドキュメント内のインラインに挿入し、サムネール表示、インデックス表示、およびオペレーション表示の H T M L ドキュメントを多重フレーム表示として一度に表示する。



【特許請求の範囲】

【請求項 1】 デジタルカメラ装置とユーザが操作するパーソナルコンピュータとがネットワークを介して接続され、パーソナルコンピュータの汎用的なウェブ・ブラウザを通して制御可能なサーバ機能を持ったデジタルカメラ装置の制御システムであって、前記デジタルカメラ装置のメモリ内の J P E G ファイルから自動的にサムネールの HTML ドキュメントを作成する手段と、

前記 J P E G ファイルの情報として、編集用のシーケンス番号、記録画素数、記録モード、画質モード、撮影モード、ファイル名、ファイルサイズ、あるいは撮影日時などを表示させる手段と、

前記メモリ内の J P E G ファイル名から自動的にインデックスの HTML ドキュメントを作成する手段と、

前記メモリ内のファイルに対する基本操作を可能とするオペレーションの HTML ドキュメントを作成する手段と、

前記オペレーションとしてファイルの削除、ファイル名の変更、ファイルのコピー、あるいはサムネールの表示方式などの操作が可能な C G I などを HTML ドキュメント内のインラインに挿入する手段と、

前記サムネール表示の HTML ドキュメント、インデックス表示の HTML ドキュメント、あるいはオペレーション表示の HTML ドキュメントを多重フレーム表示として一度に表示する手段と、

を備えていることを特徴とするデジタルカメラ装置の制御システム。

【請求項 2】 前記サムネール表示を行う場合は、連射撮影やインターバル撮影などの撮影モードで撮影された J P E G ファイルを表示する際に J P E G イメージを重ね合わせて表示する手段と、その重ね合わせた J P E G イメージをある適当な時間間隔で切り替えて表示する手段と、連射撮影やインターバル撮影などの撮影モードで撮影された J P E G ファイルから重ね合わせ表示や切り替え表示を実現する J a v a アプレットを自動的に HTML ドキュメント内のインラインに挿入する手段と、をさらに備えていることを特徴とする請求項 1 に記載のデジタルカメラ装置の制御システム。

【請求項 3】 デジタルカメラ装置とユーザが操作するパーソナルコンピュータとがネットワークを介して接続され、パーソナルコンピュータの汎用的なウェブ・ブラウザを通して制御可能なサーバ機能を持ったデジタルカメラ装置の制御システムであって、前記デジタルカメラ装置のメモリ内の J P E G ファイルから自動的に HTML 編集用の基本テンプレートに基づいて HTML ドキュメントを作成する手段と、前記 HTML ドキュメントの写真部分には前記請求項 1 で選択された J P E G ファイルをシーケンシャルに挿入する手段と、

HTML ドキュメントに表示されている写真情報や文書情報に編集用の番号をシーケンシャルに割り振る手段と、

複数の HTML 編集用のテンプレートを選択可能にする HTML ドキュメントを作成する手段と、

HTML ドキュメント内の写真情報と文書情報を編集するための操作が可能な C G I などを含んだ HTML ドキュメントを作成する手段と、

HTML 編集用の HTML ドキュメント、テンプレート選択用の HTML ドキュメント、および編集操作用の HTML ドキュメントを多重フレーム表示として一度に表示する手段と、

を備えていることを特徴とするデジタルカメラ装置の制御システム。

【請求項 4】 前記テンプレート選択用の HTML ドキュメントを作成する場合は、他のサーバ及びパーソナルコンピュータに格納されている HTML テンプレートを参照することができるリンクを表示する手段と、前記リンク先が指示された場合に、参照先に格納されているテンプレートドキュメントを自動的に F T P などのファイル転送で獲得し、その複数の HTML 編集用のテンプレートを選択可能にする HTML ドキュメントを作成する手段と、をさらに備えていることを特徴とする請求項 3 に記載のデジタルカメラ装置の制御システム。

【請求項 5】 前記テンプレート選択用の HTML ドキュメントを作成する場合は、他のサーバ及びパーソナルコンピュータに格納されている HTML テンプレートの格納先を前記ユーザが任意に指定する手段と、前記格納先を指定した場合に、参照先に格納されているテンプレートドキュメントを自動的に F T P などのファイル転送で獲得し、その複数の HTML 編集用のテンプレートを選択可能にする HTML ドキュメントを作成する手段と、をさらに備えていることを特徴とする請求項 3 に記載のデジタルカメラ装置の制御システム。

【請求項 6】 デジタルカメラ装置とユーザが操作するパーソナルコンピュータとがネットワークを介して接続され、パーソナルコンピュータの汎用的なウェブ・ブラウザを通して制御可能なサーバ機能を持ったデジタルカメラ装置の制御システムであって、

前記デジタルカメラ装置に最初にアクセスする時に、前記ユーザを識別するパスワードや I D を入力する HTML ドキュメントを作成して表示させる手段と、

前記パスワードや I D に対して、前記請求項 1 における表示方式のデフォルト値、前記請求項 3 におけるテンプレートのデフォルト値、前記請求項 4 および 5 における参照先のデータなどを前記デジタルカメラ装置側で記憶しておく手段と、

前記パスワードや I D に対応したユーザデータを使って前記請求項 1 における表示方式のデフォルト値、前記請求項 3 におけるテンプレートのデフォルト値、前記請求

項4および5における参照先のデータなどを表示する手段と、

を備えていることを特徴とするデジタルカメラ装置の制御システム。

【請求項7】 デジタルカメラ装置とユーザが操作するパーソナルコンピュータとがネットワークを介して接続され、パーソナルコンピュータの汎用的なウェブ・ブラウザを通して制御可能なサーバ機能を持ったデジタルカメラ装置の制御システムであって、

前記請求項1における表示方式のデフォルト値、前記請求項3におけるテンプレートのデフォルト値、前記請求項4および5における参照先のデータなどをクッキー技術を使って前記ウェブ・ブラウザのクライアント側にユーザデータを作成して記憶する手段と、

前記クライアント側で作成された前記ユーザデータを使って、前記請求項1における表示方式のデフォルト値、前記請求項3におけるテンプレートのデフォルト値、前記請求項4および5における参照先のデータなどを表示する手段と、

を備えていることを特徴とするデジタルカメラ装置の制御システム。

【請求項8】 デジタルカメラ装置とユーザが操作するパーソナルコンピュータとがネットワークを介して接続され、パーソナルコンピュータの汎用的なウェブ・ブラウザを通して制御可能なサーバ機能を持ったデジタルカメラ装置の制御システムであって、

前記デジタルカメラ装置に最初にアクセスする時に、前記ウェブ・ブラウザのクライアント側のIPアドレスに対して、前記請求項1における表示方式のデフォルト値、前記請求項3におけるテンプレートのデフォルト値、前記請求項4および5における参照先のデータなどをデジタルカメラ装置側で記憶しておく手段と、

前記IPアドレスに対応したユーザデータを使って、前記請求項1における表示方式のデフォルト値、前記請求項3におけるテンプレートのデフォルト値、前記請求項4および5における参照先のデータなどを表示する手段と、

を備えたことを特徴とするデジタルカメラ装置の制御システム。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】 本発明は、デジタルカメラ装置の制御システムに係り、更に詳しくは、デジタルカメラ装置とパーソナルコンピュータとがネットワークを介して接続され、パーソナルコンピュータの汎用的なウェブ・ブラウザ（Web Browser）を通して制御可能なサーバ機能を持ったデジタルカメラ装置の制御システムに関する。

【0002】

【従来の技術】 コンピュータの重要な用途の一つに、ネ

ットワーク上での情報転送がある。現在存在している最大のコンピュータネットワークは、インターネット（Internet）である。インターネットとは、共通のプロトコルを使用して通信を行う世界的なコンピュータネットワークの相互接続網のことである。このインターネットには、ローエンドのパーソナルコンピュータから、ハイエンドのスーパーコンピュータまで、さまざまなコンピュータが接続されている。

【0003】 例えば、任意の2台のコンピュータ（ノード）間における通信は、両者がどこかでインターネットに接続されている限り、インターネット上で行うことができる。インターネット上でデータ通信に用いられている最も一般的なプロトコルとしては、TCP/IP（Transport Control / Internet Protocol）があり、このTCP/IP上のレイヤには、様々な通信プロトコルが存在している。

【0004】 例えば、FTP（File Transport Protocol）は、ファイルを一方のコンピュータから別のコンピュータに転送するのに用いられるプロトコルである。典型的なFTPクライアントは、ファイルのリストを表示して、ディレクトリ構造などを通過できるようにする、ファイルマネージャーに似たインターフェースを有している。

【0005】 また、HTTP（Hyper Text Transfer Protocol）は、ほとんどのドキュメントがWWW（World Wide Web）ドキュメントである場合に、ノード間でドキュメントを転送する際に使用されるプロトコルである。典型的なHTTPは、ウェブ・サーバとウェブ・ブラウザのクライアント間で使われている。このHTTPを用いて転送されるドキュメントは、グラフィック要素及びフォームのようないくつかのコンポーネントから構成されている。そのドキュメントは、典型的には標準的なHTML（ハイパーリンクテキスト・マークアップ言語）フォーマットに符号化したもので構成されている。また、ウェブ・ブラウザは、エンドユーザにドキュメントやグラフィックドキュメントなど見せたり、オーディオドキュメントなどを聞かせたりするため、ドキュメント表示することができると共に、一方の参照ドキュメントから別のものにジャンプするため、エンドユーザは、HTTPを用いて提供されるドキュメントがドキュメント網を形成していることを認識することができる。従って、WWWは、HTTPを用いるインターネット上で利用可能な複数のドキュメントをリンクした、ドキュメントの集合体を指す場合に用いられる。

【0006】 基本的には、HTTPはドキュメントトランスポートプロトコルである。現在のHTTPシステムにおいては、HTTPクライアント（通常はネットスケープナビゲータやインターネットエクスプローラなどのブラウザ）は、HTTPサーバに対してドキュメントを要求するためのHTTP要求を送り、HTTPサーバ側

は、ユーザがそのドキュメントを読む許可を得ていれば、そのドキュメントを返送する。仮に、そのドキュメントが複合ドキュメントである場合は、HTTPクライアントは、埋め込まれたドキュメント（一般的にはグラフィックイメージ）への参照を見つけるために返送されたドキュメントを読む。ウェブ・クライアントは、ドキュメントイメージを形成するのに十分なデータを受け取ると、そのドキュメントのイメージを表示する。

【0007】このように、WWWが世界的な広がりを持つようになった理由としては、利用者が単にドキュメントを要求するだけでドキュメント内容が見れるという簡単なつくりによるところが大きい。

【0008】近年においては、既存のドキュメントを単に伝送すること以上のことが要求されている。例えば、固定ドキュメントの代わりに、利用者はドキュメントの要求が受け入れられた時に、動的に生成されるドキュメントの受け取りを望むことも可能である。この動的ドキュメントを生成する一つのメカニズムは、CGI (Common Gateway Interface) スクリプトを用いることである。クライアントは、CGIスクリプトにより、URL (Uniform Resource Locator) のフォームでドキュメントを要求する。この場合、URLはサーバ上のドキュメントではなく、サーバのプログラムを参照する。サーバは、そのプログラムによってドキュメントを生成し、クライアントのブラウザに生成したドキュメントを返送する。これにより、ドキュメントを要求し、かつ受け取れるように設定されたブラウザは、サーバ側のコード実行の結果を表示することが許容されたことになる。CGIスクリプトは、ブラウザをサーバ側のデータベースにインタフェース接続するのに用いられ、それらによってサーバの要求がURLとしてサーバに送られ、その結果はドキュメントとして返送される。それらは、サーバ側で実行され、かつブラウザは一切識別しないため、ユーザはCGIをいつ、どのように使用するかを制御することができない。

【0009】もし、そのプログラム処理をクライアント側のコードを書くために用いられるJava言語で書かれたJavaアプレットなどとして、ドキュメントと共に伝送されるならば、ユーザはプログラム実行について、より多くの制御手段を持つことができる。例えば、クライアント側でコードを実行することにより、クライアントはドキュメントを要求し、かつ返送されたドキュメントには、そのドキュメント中に埋め込まれたプログラムコードを含んでいる。クライアント・ブラウザは、クライアント側のコードを知っていなければならないが、受け取りと同時にコードを実行する。このように、クライアント側でコードを実行することにより、ドキュメントのアニメーション画像要素のような簡単な処理を実行するのに最も適した使用法となる。もしそうしなければ、サーバ上で実行するため、伝送するために必要な

通信レートが大きなものになってしまう可能性がある。

【0010】前述したように、JavaアプレットとCGIスクリプトは、その実行の場所は異なるが、実現する機能自体には大きな差はないことになる。

【0011】また、近年、クッキー(cookie)と呼ばれる、ウェブ・サーバとウェブ・クライアントとの間で情報をやり取りする機能が存在している。クッキーは、例えば、ウェブ・ブラウザ上のCGIを使って設定した情報や他の情報をウェブ・クライアント側にファイルとして持つことを可能にする。これにより、次のウェブ・サーバと、ウェブ・クライアントとの通信においては、ウェブ・サーバがウェブ・クライアント側に格納されているファイルを参照して、適当な処理を行うことを可能にしている。例えば、ウェブ・クライアント側に、「貴方は今日5回目のアクセスです！」などのような表示をウェブ・クライアント側に情報を持たせることによって可能にしている。

【0012】近年、インターネットのWWWの技術を使って、複写機、ファクシミリ、プリンタ及びデジタルカメラなどの組み込み機器をLAN (Local Area Network) やWAN (Wide Area Network) などに接続し、パーソナルコンピュータ上のネットスケープナビゲータやインターネットエクスプローラなどのウェブ・ブラウザを通して、組み込み機器を制御するという技術(方向性)が出てきている。このような技術としては、特開平9-325925号公報の「周辺機器を制御するための方法及びその装置」や、特開平10-116295号公報の「ドキュメントエージェンシーシステム」などがある。

【0013】

【発明が解決しようとする課題】しかしながら、このような従来のシステムにあつては、ネットワークを介して接続された、例えば、複写機、ファクシミリ、プリンタ及びデジタルカメラなどの組み込み機器などをパーソナルコンピュータ上のウェブ・ブラウザを通して、組み込み機器を制御するという技術が開発されつつあるが、パーソナルコンピュータ側に制御内容に応じたアプリケーションを搭載する必要があるため、上記した組み込み機器内に格納されている各種ファイルの参照や編集を容易に行うことができないという問題があった。

【0014】本発明は、上記課題に鑑みてなされたものであり、パーソナルコンピュータ側に特別なアプリケーションを搭載することなく、デジタルカメラ装置内のメモリに格納されているJPEGファイルの参照や、編集などを容易に行うことができるデジタルカメラ装置の制御システムを提供することを目的とする。

【0015】

【課題を解決するための手段】請求項1に記載の発明は、デジタルカメラ装置とユーザが操作するパーソナルコンピュータとがネットワークを介して接続され、パーソナルコンピュータの汎用的なウェブ・ブラウザを通し

て制御可能なサーバ機能を持ったデジタルカメラ装置の制御システムであって、前記デジタルカメラ装置のメモリ内のJPEGファイルから自動的にサムネールのHTMLドキュメントを作成する手段と、前記JPEGファイルの情報として、編集用のシーケンス番号、記録画素数、記録モード、画質モード、撮影モード、ファイル名、ファイルサイズ、あるいは撮影日時などを表示させる手段と、前記メモリ内のJPEGファイル名から自動的にインデックスのHTMLドキュメントを作成する手段と、前記メモリ内のファイルに対する基本操作を可能とするオペレーションのHTMLドキュメントを作成する手段と、前記オペレーションとしてファイルの削除、ファイル名の変更、ファイルのコピー、あるいはサムネールの表示方式などの操作が可能なCGIなどをHTMLドキュメント内のインラインに挿入する手段と、前記サムネール表示のHTMLドキュメント、インデックス表示のHTMLドキュメント、あるいはオペレーション表示のHTMLドキュメントを多重フレーム表示として一度に表示する手段と、を備えているものである。

【0016】これによれば、メモリ内のJPEGファイルから自動的にサムネールのHTMLドキュメントを作成し、JPEGファイルの情報として、編集用のシーケンス番号や1600×1200や640×480などの記録画素数や、音声ファイルの有無などの記録モードや、ファイン、ノーマル、エコノミーなどの画質モードや、通常撮影、マクロ撮影、連射撮影、インターバル撮影、分割撮影などの撮影モードや、ファイル名や、ファイルサイズや、撮影日時などを表示するようにする。メモリ内のJPEGファイル名から自動的にインデックスのHTMLドキュメントを作成する。メモリ内のファイルに対しての基本操作を可能としたオペレーションのHTMLドキュメントを作成する手段を有する。オペレーションとしてファイルの削除やファイル名の変更やファイルのコピーやサムネールの表示方式などの操作が可能なCGIなどをHTMLドキュメント内のインラインに挿入する。サムネール表示のHTMLドキュメント、インデックス表示のHTMLドキュメントおよびオペレーション表示のHTMLドキュメントを多重フレーム表示として一度に表示する。このため、パーソナルコンピュータ側に特別なアプリケーションを搭載することなく、

【0017】また、請求項2に記載の発明は、請求項1に記載のデジタルカメラ装置の制御システムにおいて、前記サムネール表示を行う場合は、連射撮影やインターバル撮影などの撮影モードで撮影されたJPEGファイルを表示する際にJPEGイメージを重ね合わせて表示する手段と、その重ね合わせたJPEGイメージをある

適当な時間間隔で切り替えて表示する手段と、連射撮影やインターバル撮影などの撮影モードで撮影されたJPEGファイルから重ね合わせ表示や切り替え表示を実現するJavaアプレットを自動的にHTMLドキュメント内のインラインに挿入する手段と、をさらに備えているものである。

【0018】これによれば、サムネール表示を行う場合は、連射撮影やインターバル撮影などの撮影モードで撮影されたJPEGファイルを表示する場合に、JPEGイメージを重ね合わせて表示するようにする。そして、その重ね合わせたJPEGイメージをある適当な時間間隔で切り替えて表示するようにする。連射撮影やインターバル撮影などの撮影モードで撮影されたJPEGファイルから、重ね合わせ及び切り替え表示を実現するJavaアプレットを自動的にHTMLドキュメント内のインラインに挿入する。このため、デジタルカメラ装置の撮影モードの連射撮影やインターバル撮影などで撮影された写真の視覚的グルーピングや認識が容易となる。

【0019】また、請求項3に記載の発明は、デジタルカメラ装置とユーザが操作するパーソナルコンピュータとがネットワークを介して接続され、パーソナルコンピュータの汎用的なウェブ・ブラウザを通して制御可能なサーバ機能を持ったデジタルカメラ装置の制御システムであって、前記デジタルカメラ装置のメモリ内のJPEGファイルから自動的にHTML編集用の基本テンプレートに基づいてHTMLドキュメントを作成する手段と、前記HTMLドキュメントの写真部分には前記請求項1で選択されたJPEGファイルをシーケンシャルに挿入する手段と、HTMLドキュメントに表示されている写真情報や文書情報に編集用の番号をシーケンシャルに割り振る手段と、複数のHTML編集用のテンプレートを選択可能にするHTMLドキュメントを作成する手段と、HTMLドキュメント内の写真情報と文書情報を編集するための操作が可能なCGIなどを含んだHTMLドキュメントを作成する手段と、HTML編集用のHTMLドキュメント、テンプレート選択用のHTMLドキュメント、および編集操作用のHTMLドキュメントを多重フレーム表示として一度に表示する手段と、を備えているものである。

【0020】これによれば、メモリ内のJPEGファイルから自動的にHTML編集用の基本テンプレートに基づいてHTMLドキュメントを作成する。このHTMLドキュメントの写真部分には、上記請求項1で選択された写真をシーケンシャルに挿入し、HTMLドキュメントに表示されている写真情報や文書情報に編集用の番号をシーケンシャルに割り振る。そして、複数のHTML編集用のテンプレートを選択可能にするHTMLドキュメントを作成し、HTMLドキュメント内の写真情報と文書情報を編集するための操作が可能なCGIなどを含んだHTMLドキュメントを作成し、HTML編集用の

HTMLドキュメント、テンプレート選択用のHTMLドキュメント、および編集操作のHTMLドキュメントを多重フレーム表示として一度に表示するようにする。このため、パーソナルコンピュータ側に特別なアプリケーションを搭載することなく、ネットスケープナビゲータやインターネットエクスプローラなどのウェブ・ブラウザを通して、デジタルカメラ装置内のメモリに格納されているJPEGファイルの参照や編集などを容易に行うことができる。

【0021】また、請求項4に記載の発明は、請求項3に記載のデジタルカメラ装置の制御システムにおいて、前記テンプレート選択用のHTMLドキュメントを作成する場合は、他のサーバ及びパーソナルコンピュータに格納されているHTMLテンプレートを参照することができるリンクを表示する手段と、前記リンク先が指示された場合に、参照先に格納されているテンプレートドキュメントを自動的にFTPなどのファイル転送で獲得し、その複数のHTML編集用のテンプレートを選択可能にするHTMLドキュメントを作成する手段と、をさらに備えているものである。

【0022】これによれば、テンプレート選択用のHTMLドキュメント作成する場合は、他サーバ及びパーソナルコンピュータに格納されているHTMLテンプレートを参照することができるリンクを表示する。リンク先が指示された場合は、参照先に格納されているテンプレートドキュメントを自動的にFTPなどのファイル転送で獲得し、その複数のHTML編集用のテンプレートを選択可能にするHTMLドキュメントを作成する。このため、デジタルカメラ装置に事前に登録されているテンプレート以外に、ネットワークに接続されたサーバから自由にテンプレートリソースを参照することができる。

【0023】また、請求項5に記載の発明は、請求項3に記載のデジタルカメラ装置の制御システムにおいて、前記テンプレート選択用のHTMLドキュメントを作成する場合は、他のサーバ及びパーソナルコンピュータに格納されているHTMLテンプレートの格納先を前記ユーザが任意に指定する手段と、前記格納先を指定した場合に、参照先に格納されているテンプレートドキュメントを自動的にFTPなどのファイル転送で獲得し、その複数のHTML編集用のテンプレートを選択可能にするHTMLドキュメントを作成する手段と、をさらに備えているものである。

【0024】これによれば、テンプレート選択用のHTMLドキュメントを作成する場合は、他のサーバ及びパーソナルコンピュータに格納されているHTMLテンプレートの格納先を任意にユーザが指定する。格納先を指示した場合は、参照先に格納されているテンプレートドキュメントを自動的にFTPなどのファイル転送で獲得し、その複数のHTML編集用のテンプレートを選択可能にするHTMLドキュメントを作成する。このため、

デジタルカメラ装置に事前に登録されているテンプレート以外にネットワークに接続されたサーバから自由にテンプレートリソースを参照することができる。

【0025】また、請求項6に記載の発明は、デジタルカメラ装置とユーザが操作するパーソナルコンピュータとがネットワークを介して接続され、パーソナルコンピュータの汎用的なウェブ・ブラウザを通して制御可能なサーバ機能を持ったデジタルカメラ装置の制御システムであって、前記デジタルカメラ装置に最初にアクセスする時に、前記ユーザを識別するパスワードやIDを入力するHTMLドキュメントを作成して表示させる手段と、前記パスワードやIDに対して、前記請求項1における表示方式のデフォルト値、前記請求項3におけるテンプレートのデフォルト値、前記請求項4および5における参照先のデータなどを前記デジタルカメラ装置側で記憶しておく手段と、前記パスワードやIDに対応したユーザデータを使って前記請求項1における表示方式のデフォルト値、前記請求項3におけるテンプレートのデフォルト値、前記請求項4および5における参照先のデータなどを表示する手段と、を備えているものである。

【0026】これによれば、デジタルカメラ装置に最初にアクセスする時に、ユーザを識別するパスワードやIDを入力するHTMLドキュメントを作成し表示する。そのパスワードやIDに対して上記請求項1における表示方式のデフォルト値や、上記請求項3におけるテンプレートのデフォルト値や、上記請求項4および請求項5における参照先のデータなどをデジタルカメラ装置側で記憶する。そして、パスワードやIDに対応したユーザデータを使って、上記請求項1における表示方式のデフォルト値や、上記請求項3におけるテンプレートのデフォルト値や、請求項4および請求項5における参照先のデータなどを表示する。このため、パーソナルコンピュータ側に特別なアプリケーションを搭載することなく、ネットスケープナビゲータやインターネットエクスプローラなどのウェブ・ブラウザを通して表示されるHTMLドキュメントをアクセスしているユーザ毎にカスタマイズすることが可能となり、ユーザ毎に異なるHTMLドキュメントを作成することができる。

【0027】また、請求項7に記載の発明は、デジタルカメラ装置とユーザが操作するパーソナルコンピュータとがネットワークを介して接続され、パーソナルコンピュータの汎用的なウェブ・ブラウザを通して制御可能なサーバ機能を持ったデジタルカメラ装置の制御システムであって、前記請求項1における表示方式のデフォルト値、前記請求項3におけるテンプレートのデフォルト値、前記請求項4および5における参照先のデータなどをクッキー技術を使って前記ウェブ・ブラウザのクライアント側にユーザデータを作成して記憶する手段と、前記クライアント側で作成された前記ユーザデータを使って、前記請求項1における表示方式のデフォルト値、前

記請求項 3 におけるテンプレートのデフォルト値、前記請求項 4 および 5 における参照先のデータなどを表示する手段と、を備えているものである。

【0028】これによれば、上記請求項 1 における表示方式のデフォルト値や、上記請求項 3 におけるテンプレートのデフォルト値や、上記請求項 4 および請求項 5 における参照先のデータなどを cookie などの技術を使ってクライアント側にユーザデータを作成し記憶する。そして、クライアント側で作成されたユーザデータを使って、上記請求項 1 における表示方式のデフォルト値や、上記請求項 3 におけるテンプレートのデフォルト値や、上記請求項 4 および請求項 5 における参照先のデータなどを表示する。このため、パーソナルコンピュータ側に特別なアプリケーションを搭載することなく、ネットスケープナビゲータやインターネットエクスプローラなどのウェブ・ブラウザを通して表示される HTML ドキュメントをアクセスしているユーザ毎にカスタマイズすることが可能となり、ユーザ毎に異なる HTML ドキュメントを作成することができる。

【0029】また、請求項 8 に記載の発明は、デジタルカメラ装置とユーザが操作するパーソナルコンピュータとがネットワークを介して接続され、パーソナルコンピュータの汎用的なウェブ・ブラウザを通して制御可能なサーバ機能を持ったデジタルカメラ装置の制御システムであって、前記デジタルカメラ装置に最初にアクセスする時に、前記ウェブ・ブラウザのクライアント側の IP アドレスに対して、前記請求項 1 における表示方式のデフォルト値、前記請求項 3 におけるテンプレートのデフォルト値、前記請求項 4 および 5 における参照先のデータなどをデジタルカメラ装置側で記憶しておく手段と、前記 IP アドレスに対応したユーザデータを使って、前記請求項 1 における表示方式のデフォルト値、前記請求項 3 におけるテンプレートのデフォルト値、前記請求項 4 および 5 における参照先のデータなどを表示する手段と、を備えたものである。

【0030】これによれば、デジタルカメラ装置に最初にアクセスする時に、クライアント側の IP アドレスに対して上記請求項 1 における表示方式のデフォルト値や、上記請求項 3 におけるテンプレートのデフォルト値や、上記請求項 4 および請求項 5 における参照先のデータなどをデジタルカメラ装置側で記憶しておく。そして、IP アドレスに対応したユーザデータを使って、上記請求項 1 における表示方式のデフォルト値や、上記請求項 3 におけるテンプレートのデフォルト値や、上記請求項 4 および請求項 5 における参照先のデータなどを表示する。このため、パーソナルコンピュータ側に特別なアプリケーションを搭載することなく、ネットスケープナビゲータやインターネットエクスプローラなどのウェブ・ブラウザを通して表示される HTML ドキュメントをアクセスしているユーザ毎にカスタマイズすることが

可能となり、ユーザ毎に異なる HTML ドキュメントを作成することができる。

【0031】

【発明の実施の形態】以下、本発明の実施の形態を図面に基いて詳細に説明する。まず、本発明の実施の形態に共通のネットワーク構成およびシステム構成について説明する。図 1 は、本発明におけるネットワーク構成を示す図である。図 1 に示したネットワーク構成は、ネットワーク 10 と、携帯電話 28 と、デジタルカメラ装置 16, 20, 26 と、パーソナルコンピュータ（以下、PC）18, 22, 24 と、ローカルエリアネットワーク（以下、LAN）12, 14などを備えている。

【0032】そして、上記デジタルカメラ装置 16, 20, 26 には、HTTP サーバの機能と通信機能とが搭載されていると共に、上記 PC 18, 22, 24 には、ネットスケープナビゲータやインターネットエクスプローラなどのウェブ・ブラウザが搭載されているものとする。

【0033】デジタルカメラ装置 26 は、携帯電話 28 を使って PPP 接続され、ネットワーク（ここでは、インターネット）10 に接続されている。また、デジタルカメラ装置 16 および PC 18 は、それぞれ LAN 12 に接続されていて、LAN 12 経由でネットワーク 10 に接続されている。さらに、デジタルカメラ装置 20 と PC 22 と PC 24 は、それぞれ LAN 14 に接続され、LAN 14 経由でネットワーク 10 に接続されている。

【0034】本発明では、インターネットの WWW (World Wide Web) の技術を使って、PC 18, 22, 24 上のネットスケープナビゲータやインターネットエクスプローラなどのウェブ・ブラウザを通して、デジタルカメラ装置 16, 20, 26 を制御する。

【0035】デジタルカメラ装置 16, 20, 26 に実装されている基本プラットフォームの一例としては、特開平 9-325925 号公報の「周辺機器を制御するための方法及びその装置」、あるいは、特開平 10-116295 号公報の「ドキュメントエージェンシーシステム」などに開示されたものがあるが、本発明では、特開平 9-325925 号や特開平 10-116295 号公報の技術を基本プラットフォームとした時のデジタルカメラ装置におけるアプリケーションもしくはサービスを提供するものである。

【0036】PC 18, 22, 24 は、デジタルカメラ装置を制御するための特別のアプリケーションソフトをインストールすることなく、ネットスケープナビゲータやインターネットエクスプローラなどのウェブ・ブラウザを通してデジタルカメラ装置 16, 20, 26 を制御することができる。PC 18, 22, 24 からは、インターネットを経由して、デジタルカメラ装置 16, 20, 26 の任意の装置に対してアクセスすることが可能

である。

【0037】図2は、本発明のシステム構成を示す図である。本発明のシステムは、デジタルカメラ装置30、ネットワーク（ここでは、インターネット）32、およびPC34などで構成されている。デジタルカメラ装置30には、データ301とウェブ・サーバ機能を持ったウェブ・サーバ302とが実装されている。このデータ301には、HTMLフォーマットのデータや、CGIを実現するプログラム、Javaアプレット、撮影されたJPEG（写真）ファイル、その他管理データなどが格納されている。ウェブ・サーバ302には、先に記述したCGI機能、Java機能、クッキー機能のようなものが適宜組み込み機器に対応した形で実装されている。

【0038】PC34には、ウェブ・ブラウザ341が実装されており、Javaアプレットの実行やクッキー機能が実現されている。ユーザ36は、PC34の操作者である。

【0039】本発明では、以上のようなシステム構成を持つことによって、ユーザ36がPC34のウェブ・ブラウザ341を起動し、デジタルカメラ装置30のデータ301に格納されているHTMLファイル、もしくはプログラムファイルなどのURLを指定することによりアクセスすることができる。

【0040】（実施の形態1）図3は、本実施の形態1におけるHTMLドキュメント構成図である。本実施の形態1では、図1に示すようなネットワーク構成下において、図2に示すようなシステム構成を備えており、PCの汎用的なウェブ・ブラウザを通して図3に示すようなHTMLドキュメントを表示させる。このHTMLドキュメントは、デジタルカメラ装置30に付属または内蔵されたメモリ内のJPEG（写真）ファイルから自動的にサムネールのHTMLドキュメントを作成するようにする。個々のJPEG表示部分やファイル名は、それぞれ元の解像度で表示するようなHTMLドキュメントがリンクされている。

【0041】JPEGファイルの情報としては、例えば、編集用のシーケンス番号、1600×1200や640×480などの記録画素数、音声ファイルの有無などの記録モード、ファイン、ノーマル、エコノミーなどの画質モード、通常撮影、マクロ撮影、連射撮影、インターバル撮影、分割撮影などの撮影モード、ファイル名、ファイルサイズ、あるいは撮影日時などを表示するようにする。メモリ内のJPEGファイル名から自動的にインデックスのHTMLドキュメントを作成する。このため、インデックスをアクセスすると、ファイル名に対応したJPEGファイルが右上の位置に来るようにサムネール表示を自動的にスクロールする。

【0042】メモリ内のファイルに対する基本操作を可能としたオペレーションのHTMLドキュメントを作成

する。オペレーションとしては、ファイルの削除、ファイル名の変更、ファイルのコピー、サムネールの表示方式などの操作が可能なCGIなどをHTMLドキュメント内のインラインに挿入する。

【0043】ファイルの削除やファイルのコピーは、サムネール表示で割り振られているシーケンス番号を指定する。例えば、「1」と入力すれば1の番号のファイルが指定され、「1-5」と入力すれば1-5の番号のファイルが指定される。また、「A」と入力すれば全ファイルが指定される。ファイル名の変更は、現在のファイル名と新しいファイル名とを入力する。表示フォーマットは、TYPE1～TYPE4の何れかをクリックして指定する。

【0044】上記のような操作入力をユーザ36側で行った後、「実行」を選択すると該当する処理が行われて、新たにサムネール表示のHTMLドキュメントが作成される。また、「キャンセル」を選択すると上記操作入力されたデータがクリアされる。サムネール表示のHTMLドキュメント、インデックス表示のHTMLドキュメント、およびオペレーション表示のHTMLドキュメントは、多重フレームとして一度に表示される。

【0045】このように、本実施の形態1によれば、以上述べた処理を行うことにより、PC側に特別なアプリケーションを搭載することなく、ネットスケープナビゲータやインターネットエクスプローラなどのウェブ・ブラウザを通して、デジタルカメラ装置内のメモリに格納されているJPEGファイルの参照や編集などを容易に行うことができる。

【0046】（実施の形態2）図4は、本実施の形態2におけるHTMLドキュメント構成図である。本実施の形態2では、図1に示すようなネットワーク構成下において、図2に示すようなシステム構成を備えており、PCの汎用的なウェブ・ブラウザを通して図4に示すようなHTMLドキュメントを表示させる。本実施の形態2においては、上記実施の形態1におけるサムネール表示で連射撮影やインターバル撮影などの撮影モードで撮影されたJPEGファイルを表示する場合、図4中のAで示した部分にJPEGイメージを重ね合わせて表示するようにする。そして、その重ね合わせたJPEGイメージをある適当な時間間隔で切り替えて表示する。このように、連射撮影やインターバル撮影などの撮影モードで撮影されたJPEGファイルから、重ね合わせ及び切り替え表示を実現するJavaアプレットを自動的にHTMLドキュメント内のインラインに挿入する。

【0047】また、インデックス表示についても、連続撮影やインターバル撮影のグルーピングが認識できるようにレイアウトする。

【0048】このように、本実施の形態2によれば、以上述べた処理を行うことにより、デジタルカメラ装置の撮影モードの連射撮影、インターバル撮影などで撮影さ

れた写真の視覚的グルーピングを行うことにより、容易に認識することができる。

【0049】（実施の形態3）図5は、本実施の形態3におけるHTMLドキュメント構成図である。本実施の形態3では、図1に示すようなネットワーク構成下において、図2に示すようなシステム構成を備えており、PCの汎用的なウェブ・ブラウザを通して図5に示すようなHTMLドキュメントを表示させる。本実施の形態3においては、デジタルカメラ装置30のメモリ内のJPEGファイルから自動的にHTML編集用の基本テンプレートに基づいてHTMLドキュメントを作成する。

【0050】このHTMLドキュメントの写真部分には、上記実施の形態1で選択された写真をシーケンシャルに挿入する。そして、HTMLドキュメントに表示されている写真情報や文書情報に編集用の番号をシーケンシャルに割り振り、複数のHTML編集用のテンプレートを選択可能にするHTMLドキュメントを作成する。

【0051】図5に示すHTMLドキュメントのテンプレート選択画面から任意のテンプレートを選択すると、自動的にHTML作成用の表示を選択したテンプレートに置き換わって、HTMLドキュメントを作成し直す。例えば、HTMLドキュメント内の写真情報と文書情報とを編集するための操作が可能なCGIスクリプトなどを含むHTMLドキュメントを作成する。

【0052】文書を入力したい場合は、図5の文書番号欄に挿入部分の番号を指定し、文書入力欄に文書を書き込む。また、表示画像を入れ替えたい場合は、入れ替えたい画像の番号を入替画像番号欄で指定し、置き換える画像のファイル名を入換画像名欄に書き込む。また、文書や画像を削除したい場合は、削除した部分の文書番号や画像番号をそれぞれ削除文書欄や削除画像欄に書き込んで指定する。

【0053】上記した入力作業をユーザ36が行った後、「実行」が選択されると、自動的にHTML編集の表示を入力したデータが反映される形でHTMLドキュメントが作成される。HTML編集用のHTMLドキュメント、テンプレート選択用のHTMLドキュメント、あるいは編集操作用のHTMLドキュメントを多重フレーム表示として一度に表示される。

【0054】このように、本実施の形態3によれば、以上述べた処理を行うことにより、PC側に特別なアプリケーションソフトを搭載することなく、ネットスケープナビゲータやインターネットエクスプローラなどのウェブ・ブラウザを通して、デジタルカメラ装置内のメモリに格納されているJPEGファイルを使ったHTMLの編集を容易に行うことができる。

【0055】（実施の形態4）本実施の形態4については、上記実施の形態3におけるHTMLドキュメント構成図の図5を参照しながら説明する。本実施の形態4では、図1に示すようなネットワーク構成下において、図

2に示すようなシステム構成を備えており、PCの汎用的なウェブ・ブラウザを通して図5中のBで示した部分のような表示を行うようにする。

【0056】本実施の形態4においては、上記実施の形態3のテンプレート選択用のHTMLドキュメントを作成する際に、他サーバ及びPCに格納されているHTMLテンプレートを参照できるようなリンクを表示するものである。このようなリンク先が指定された場合は、参照先に格納されているテンプレートドキュメントを自動的にFTPなどのファイル転送で獲得して、その複数のHTML編集用のテンプレートを選択可能にするHTMLドキュメントが作成される。

【0057】このように、本実施の形態4によれば、以上述べた処理を行うことにより、デジタルカメラ装置に事前に登録されているテンプレート以外に、ネットワークに接続されたサーバから自由にテンプレートリソースを参照することができる。

【0058】（実施の形態5）本実施の形態5については、上記実施の形態3におけるHTMLドキュメント構成図の図5を参照しながら説明する。本実施の形態5では、図1に示すようなネットワーク構成下において、図2に示すようなシステム構成を備えており、PCの汎用的なウェブ・ブラウザを通して図5中のCで示した部分のような表示を行うようにする。

【0059】本実施の形態5においては、上記実施の形態3のテンプレート選択用のHTMLドキュメント作成する際に、他サーバ及びPCに格納されているHTMLテンプレートの格納先を任意にユーザが指定する。格納先を指定した場合は、参照先に格納されているテンプレートドキュメントを自動的にFTPなどのファイル転送で獲得し、その複数のHTML編集用のテンプレートを選択可能にするHTMLドキュメントが作成される。

【0060】このように、本実施の形態5によれば、以上述べた処理を行うことにより、デジタルカメラ装置に事前に登録されているテンプレート以外に、ネットワークに接続されたサーバから自由にテンプレートリソースを参照することができる。

【0061】（実施の形態6）本実施の形態6では、図1に示すようなネットワーク構成下において、図2に示すようなシステム構成を備えており、PCの汎用的なウェブ・ブラウザを通して制御可能なサーバ機能をデジタルカメラ装置が持っている。ユーザ36がPC34からデジタルカメラ装置に最初にアクセスする時は、ユーザを識別するパスワードやIDを入力するHTMLドキュメントを作成して表示する。このようなパスワードやIDに対して、上記実施の形態1における表示方式のデフォルト値、上記実施の形態3におけるテンプレートのデフォルト値、あるいは、上記実施の形態4および5における参照先のデータなどをデジタルカメラ装置30側で記憶するようにする。このパスワードやIDに対応した

ユーザデータを使って、上記実施の形態 1 における表示方式のデフォルト値、上記実施の形態 3 におけるテンプレートのデフォルト値、上記実施の形態 4 および 5 における参照先のデータなどを表示するようにする。

【0062】このように、本実施の形態 6 によれば、以上述べた処理を行うことにより、PC 側に特別なアプリケーションソフトを搭載することなく、ネットスケープナビゲータやインターネットエクスプローラなどのウェブ・ブラウザを通して表示される HTML ドキュメントをアクセスしているユーザ毎にカスタマイズすることが可能となり、また、ユーザ毎に異なる HTML ドキュメントを作成することができる。

【0063】（実施の形態 7）本実施の形態 7 では、図 1 に示すようなネットワーク構成下において、図 2 に示すようなシステム構成を備えており、PC の汎用的なウェブ・ブラウザを通して制御可能なサーバ機能をデジタルカメラ装置が持っている。上記実施の形態 1 における表示方式のデフォルト値、上記実施の形態 3 におけるテンプレートのデフォルト値、あるいは、上記実施の形態 4 および 5 における参照先のデータなどをクッキーなどの技術を使ってクライアント側にユーザデータを作成して記憶させる。ユーザ 36 は、クライアント側で作成されたユーザデータを使って、上記実施の形態 1 における表示方式のデフォルト値、上記実施の形態 3 におけるテンプレートのデフォルト値、あるいは、上記実施の形態 4 および 5 における参照先のデータなどを表示するようにする。

【0064】このように、本実施の形態 7 によれば、以上述べた処理を行うことにより、PC 側に特別なアプリケーションソフトを搭載することなく、ネットスケープナビゲータやインターネットエクスプローラなどのウェブ・ブラウザを通して表示される HTML ドキュメントをアクセスしているユーザ毎にカスタマイズすることが可能となり、また、ユーザ毎に異なる HTML ドキュメントを作成することができる。

【0065】（実施の形態 8）本実施の形態 8 では、図 1 に示すようなネットワーク構成下において、図 2 に示すようなシステム構成を備えており、PC の汎用的なウェブ・ブラウザを通して制御可能なサーバ機能をデジタルカメラ装置が持っている。ユーザ 36 が PC 34 からデジタルカメラ装置に最初にアクセスする時は、クライアント側の IP アドレスに対して、上記実施の形態 1 における表示方式のデフォルト値、上記実施の形態 3 におけるテンプレートのデフォルト値、上記実施の形態 4 および 5 における参照先のデータなどをデジタルカメラ装置 30 側で記憶するようにする。そして、IP アドレスに対応したユーザデータを使って、上記実施の形態 1 における表示方式のデフォルト値、上記実施の形態 3 におけるテンプレートのデフォルト値、上記実施の形態 4 および 5 における参照先のデータなどを表示するようす

る。

【0066】このように、本実施の形態 8 によれば、以上述べた処理を行うことにより、PC 側に特別なアプリケーションソフトを搭載することなく、ネットスケープナビゲータやインターネットエクスプローラなどのウェブ・ブラウザを通して表示される HTML ドキュメントをアクセスしているユーザ毎にカスタマイズすることが可能となり、また、ユーザ毎に異なる HTML ドキュメントを作成することができる。

10 【0067】

【発明の効果】以上説明したように、本発明のデジタルカメラ装置の制御システム（請求項 1）によれば、パーソナルコンピュータ側に特別なアプリケーションを搭載することなく、ネットスケープナビゲータやインターネットエクスプローラなどのウェブ・ブラウザを通して、デジタルカメラ装置内のメモリに格納されている JPEG ファイルの参照や、編集などを容易に行うことができる。

20 【0068】また、本発明のデジタルカメラ装置の制御システム（請求項 2）によれば、デジタルカメラ装置の撮影モードの連射撮影やインターバル撮影などで撮影された写真の視覚的グルーピングや認識が容易となる。

【0069】また、本発明のデジタルカメラ装置の制御システム（請求項 3）によれば、パーソナルコンピュータ側に特別なアプリケーションを搭載することなく、ネットスケープナビゲータやインターネットエクスプローラなどのウェブ・ブラウザを通して、デジタルカメラ装置内のメモリに格納されている JPEG ファイルの参照や編集などを容易に行うことができる。

30 【0070】また、本発明のデジタルカメラ装置の制御システム（請求項 4）によれば、デジタルカメラ装置に事前に登録されているテンプレート以外に、ネットワークに接続されたサーバから自由にテンプレートリソースを参照することができる。

【0071】また、本発明のデジタルカメラ装置の制御システム（請求項 5）によれば、デジタルカメラ装置に事前に登録されているテンプレート以外にネットワークに接続されたサーバから自由にテンプレートリソースを参照することができる。

40 【0072】また、本発明のデジタルカメラ装置の制御システム（請求項 6）によれば、パーソナルコンピュータ側に特別なアプリケーションを搭載することなく、ネットスケープナビゲータやインターネットエクスプローラなどのウェブ・ブラウザを通して表示される HTML ドキュメントをアクセスしているユーザ毎にカスタマイズすることが可能となり、ユーザ毎に異なる HTML ドキュメントを作成することができる。

50 【0073】また、本発明のデジタルカメラ装置の制御システム（請求項 7）によれば、パーソナルコンピュータ側に特別なアプリケーションを搭載することなく、ネ

ットスケープナビゲータやインターネットエクスプローラなどのウェブ・ブラウザを通して表示されるHTMLドキュメントをアクセスしているユーザ毎にカスタマイズすることが可能となり、ユーザ毎に異なるHTMLドキュメントを作成することができる。

【0074】また、本発明のデジタルカメラ装置の制御システム（請求項8）によれば、パーソナルコンピュータ側に特別なアプリケーションを搭載することなく、ネットスケープナビゲータやインターネットエクスプローラなどのウェブ・ブラウザを通して表示されるHTMLドキュメントをアクセスしているユーザ毎にカスタマイズすることが可能となり、ユーザ毎に異なるHTMLドキュメントを作成することができる。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明におけるネットワーク構成を示す図である。

【図2】本発明のシステム構成を示す図である。

【図3】本実施の形態1におけるHTMLドキュメント

構成図である。

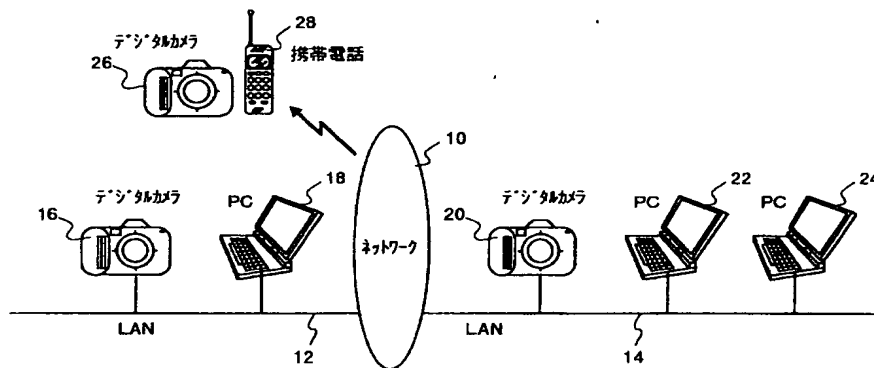
【図4】本実施の形態2におけるHTMLドキュメント構成図である。

【図5】本実施の形態3におけるHTMLドキュメント構成図である。

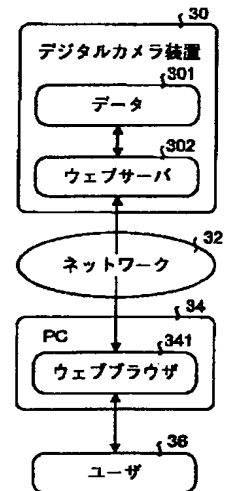
【符号の説明】

- 10 ネットワーク
- 12, 14 LAN（ローカルエリアネットワーク）
- 16, 20, 26 デジタルカメラ装置
- 18, 22, 24 PC（パーソナルコンピュータ）
- 28 携帯電話
- 30 デジタルカメラ装置
- 301 データ
- 302 ウェブ・サーバ
- 32 ネットワーク
- 34 PC（パーソナルコンピュータ）
- 341 ウェブ・ブラウザ







【図1】



【図2】










【図3】

インデックス	サムネール表示		
1.003980.JPG	1.003980.JPG	2.003980.JPG	3.003980.JPG
2.003980.JPG			
3.003980.JPG	日付 98.08.22 12:33 1600×1200771(800K) 通常撮影 (音声ファイル有り)	日付 98.08.22 12:33 1600×1200771(800K) 通常撮影 (音声ファイル有り)	日付 98.08.22 12:33 1600×1200771(800K) 通常撮影 (音声ファイル有り)
4.003980.JPG	4.003980.JPG	5.003980.JPG	6.003980.JPG
5.003980.JPG			
6.003980.JPG	日付 98.08.22 12:33 1600×1200771(800K) 通常撮影 (音声ファイル有り)	日付 98.08.22 12:33 1600×1200771(800K) 通常撮影 (音声ファイル有り)	日付 98.08.22 12:33 1600×1200771(800K) 通常撮影 (音声ファイル有り)
7.003980.JPG			
8.003980.JPG			
9.003980.JPG			
10.003980.JPG			
11.003980.JPG			
12.003980.JPG			
13.003980.JPG			
14.003980.JPG			
15.003980.JPG			
17.003980.JPG			

削除番号	<input type="text"/>	ファイル名変更	<input type="text"/>	表示フォーマット	<input type="checkbox"/> TYPE1
コピー番号	<input type="text"/>	<input type="text"/>		<input type="checkbox"/> TYPE2	<input type="checkbox"/> TYPE3
				<input type="checkbox"/> TYPE4	
<input type="button" value="キャンセル"/> <input type="button" value="実行"/>					

【図4】

インデックス	サムネール表示			
1.003980.JPG	1.003980.JPG	2.003980.JPG	3.003980.JPG	
2.003980.JPG				
3.003980.JPG	日付 98.08.22 12:33 1600×1200771(800K) 通常撮影 (音声ファイル有り)	日付 98.08.22 12:33 1600×1200771(800K) 通常撮影 (音声ファイル有り)	日付 98.08.22 12:33 1600×1200771(800K) 通常撮影 (音声ファイル有り)	
4.003980.JPG	4.003980.JPG	5.003980.JPG	6.003980.JPG	7.003980.JPG
5.003980.JPG				
6.003980.JPG	日付 98.08.22 12:33 1600×1200771(800K) 通常撮影 (音声ファイル有り)			
7.003980.JPG				
8.003980.JPG				
9.003980.JPG				
10.003980.JPG				
11.003980.JPG				
12.003980.JPG				
13.003980.JPG				
14.003980.JPG				
15.003980.JPG				
17.003980.JPG				

削除番号	<input type="text"/>	ファイル名変更	<input type="text"/>	表示フォーマット	<input type="checkbox"/> TYPE1
コピー番号	<input type="text"/>	<input type="text"/>		<input type="checkbox"/> TYPE2	<input type="checkbox"/> TYPE3
				<input type="checkbox"/> TYPE4	
<input type="button" value="キャンセル"/> <input type="button" value="実行"/>					

【図5】

The screenshot shows a web application interface with a sidebar menu on the left and a main content area. The sidebar menu includes a 'テンプレート' (Template) section with a list of HTML files (001.HTML to 010.HTML) and a 'Server' section with links to Server01, Server02, Server03, and Server04, and a 'Manual' link. The main content area is divided into three sections: '1. 文書番号' (Document Number) with a text input field and a '2. 文書番号' (Document Number) section with a thumbnail image labeled '2.003980.JPG' and a text input field. The '3. 文書番号' (Document Number) section has a text input field and a thumbnail image labeled '3.003980.JPG'. At the bottom, there is a form with fields for '文書番号' (Document Number), '削除番号' (Delete Number), '入替画像番号' (Image Replacement Number), '入替画像名' (Image Replacement Name), '削除文書' (Delete Document), and '削除画像' (Delete Image). There are also 'キャンセル' (Cancel) and '実行' (Execute) buttons.

テンプレート
001.HTML
002.HTML
003.HTML
004.HTML
005.HTML
006.HTML
007.HTML
008.HTML
009.HTML
010.HTML
Server01
Server02
Server03
Server04
Manual

1. 文書番号
文書を入力して下さい。

2. 文書番号
2.003980.JPG
文書を入力して下さい。

3. 文書番号
3.003980.JPG
文書を入力して下さい。

文書番号 削除番号 入替画像番号
文書入力 入替画像名
削除文書 削除画像
キャンセル 実行